

令和5年度

3つの柱と

その他の取り組み



2つめの柱

GXおよびDXへの投資



新規 カーボンニュートラルの推進 ▶ 1,063万円

市では昨年、2030年に温室効果ガスの排出量を46%削減し、2050年までにカーボンニュートラルを実現するという目標を掲げました。今年度は具体的な実行計画を立て、市民・事業者・行政が一体となって取り組みを進める体制づくりを行います。



拡充 **継続** 自治体DXの推進 ▶ 1,932万円

業務の効率化や市民サービス向上のため、自治体DXを推進します。行政手続きのオンライン化として、4月から市ホームページ等のポータルサイトで約40件の手続きがオンラインで申請できるようになります。そのほか、情報格差の解消に向けた高齢者向けスマホ教室の拡充や三和地区の公共施設に新たに公共Free Wi-Fiを整備します。



3つめの柱

包摂社会の実現



新規 生活困窮者およびヤングケアラー等への支援 ▶ 2,033万円

家事や家族の介護などを日常的に行い、負担を強いられているヤングケアラーや生活困窮世帯の子どもなどへの支援体制を構築します。今年度は、ヤングケアラー支援のために各種学校の教員等を対象とした研修や専門のコーディネーターを配置します。また、子どもの居場所づくりや見守りを兼ねた食料・日用品の宅配などを地域の中で行う団体等を支援し、子どもの困り事を必要な支援につなげる官民協働のネットワークを形成します。



1つめの柱

地域活性化の推進



新規 テレワーク施設の整備支援 ▶ 1億200万円

古河市への人の流れを創出するため、民間と連携した新たなテレワーク施設の支援を行います。新しい働き方の追求、起業家や異業種の人たちが集まる魅力的な拠点の創出により、人のつながりを生かして都市部と地方の連携に取り組みます。



新規 古河市賑わい創出プロジェクト(観光資源の磨き上げと拠点整備) ▶ 1億4,974万円

地域の強みを生かし古河市ならではのまちづくりを進めるために、各種祭りや観光資源のPRを拡充します。また、さらなる集客力の向上と賑わいのある拠点を目指し、道の駅への大型遊具の設置やウッドデッキの改修を行います。



新規 古河市賑わい創出プロジェクト(公園施設の整備) ▶ 4,872万円

市内の観光資源を生かした人を呼び込む力の強化を目的に、公園施設の整備を行います。古河公方公園にハナモモの植栽とカキツバタ園の整備を行うほか、ネーブルパークの玄関口にある広場にパーゴラ(日陰棚)を設置して水遊び場周辺の日よけを確保することにより、さらなる来園者の増加を目指します。



拡充 市の魅力発信 ▶ 189万円

市民のまちへの愛着や誇りの醸成とともに、市内外における認知獲得を図るため「こがくらす」を合言葉として、昨年度からブランド戦略に取り組んでいます。今年度はこれらの取り組みに併せ、市の魅力創造活動やSNSでの発信への支援を継続することで、市民によるプロモーションを推進します。

